

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 令和8年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

令和7年度北海道農業試験会議（成績会議）において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、当场が担当または分担した提出課題（農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く）は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

（作物開発部会）

- 水稲新品種候補「空育198号」（中央農試水田農業グループ、上川農試水稲畑作グループ、道南農試作物病虫グループ、中央農試生物工学グループ・農産品質グループ）
- 小麦新品種候補「HW10号」（北見農試麦類畑作グループ、中央農試作物グループ・病害虫グループ・農産品質グループ、上川農試水稲畑作グループ、十勝農試豆類畑作グループ、ホクレン農業総合研究所）
- てんさい新品種候補「HT55」（北見農試麦類畑作グループ、十勝農試豆類畑作グループ、中央農試作物グループ、上川農試水稲畑作グループ、北海道農産協会）
- てんさい新品種候補「KWS 3K503」（北見農試麦類畑作グループ、十勝農試豆類畑作グループ、中央農試作物グループ、上川農試水稲畑作グループ、北海道農産協会）
- ばれいしょ新品種候補系統「北育33号」（北見農試馬鈴しょ牧草グループ・生産技術グループ、中央農試作物グループ・生物工学グループ・予察診断グループ、十勝農試豆類畑作グループ、ホクレン農業総合研究所）

(2) 指導参考事項

（作物開発部会）

- ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性ばれいしょ地域在来品種等「ユーロビバ」の特性（北見農試馬鈴しょ牧草グループ・生産技術グループ、中央農試予察診断グループ）
- ばれいしょ地域在来品種等「CP14」の特性（北見農試馬鈴しょ牧草グループ・生産技術グループ、中央農試作物グループ・予察診断グループ、十勝農試豆類畑作グループ、上川農試水稲畑作グループ）
- ばれいしょ地域在来品種等「CP15」の特性（北見農試馬

鈴しょ牧草グループ・生産技術グループ、中央農試予察診断グループ、十勝農試豆類畑作グループ、上川農試水稲畑作グループ）

（生産技術部会）

- 水稲湛水直播栽培におけるプラスチックを用いない肥効調節型肥料の施用効果（中央農試水田農業グループ）
- 養分収支と肥料価格を考慮した春まき小麦に対するリン酸施肥指針（北見農試生産技術グループ、中央農試生産技術グループ、上川農試生産技術グループ）
- 秋まき小麦菓子用品種「北見95号」における子実タンパク制御に向けた高品質安定栽培技術（中央農試生産技術グループ・作物グループ・農産品質グループ）
- 大豆有機栽培における抑草および密植・施肥技術（中央農試生産技術グループ）
- かぼちゃの直播・密植・無整枝による省力多収栽培と長期安定出荷技術（花・野菜技術センター生産技術グループ・花き野菜グループ、十勝農試生産技術グループ、中央農試病害虫グループ・農産品質グループ）

（病虫部会）

- 令和7年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫（農業研究本部、北海道農政部技術普及課）
- セルリーの病害虫・障害の発生実態と萎黄病の防除対策（中央農試病害虫グループ、農業研究本部地域技術グループ、中央農試予察診断グループ・環境保全グループ）
- りんごの摘果期及び剪定作業時のリンゴ腐らん病防除対策（中央農試予察診断グループ）
- 移植時処理薬剤を用いたテンサイ褐斑病の省力防除技術（中央農試予察診断グループ、十勝農試生産技術グループ）
- マメコバチの巣筒に寄生するツツハナコナダニの温湯浸漬による防除技術（中央農試病害虫グループ）

（農業システム部会）

- 衛星画像を用いた圃場内低pH領域の推定手法（十勝農試農業システムグループ・生産技術グループ、中央農試農業システムグループ）
- 農業法人における従業員の職務課題と要望を見える化する手順（中央農試農業システムグループ）

普及推進事項、研究参考事項、行政参考事項 該当なし

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

作物開発部

○佐藤三佳子, 平間琢也, 吉田昌幸. Mスターコンテナを活用した醸造用ブドウ苗木の育苗. 森林遺伝育種. 14(4), p. 190-193 (2025)

○Adegawa, S., Seino, A., Yaguchi, K., Toyoshima, K., Mori, K., Suto, K., Yamaguchi, N., Souma, C., Suzuki, T., and Nakahara, K. S. Characterization of wheat virus Q from wheat in Hokkaido, Japan. Journal of General Plant Pathology. 92, p.51-64 (2026)

○Souma, C., Todai, T., Kousaka, F., Nagasawa, H., Ogura, R., and Suzuki, T. Identification of Adzuki Bean Quantitative Trait Loci Associated with Resistance to Soybean Cyst Nematode. Legume Science. 7(3) (2025)

○Takata, S., Ishikawa, G., Maejima, H., Uehara, Y., Tsunekawa, K., Suzuki, R., Kato, S., Saka, N., Souma, C., Yanaka, M., Nakamura, K., Matsunaka, H., Kiribuchi-Otobe, C., Hatta, K., Kojima, H., and Kobayashi, F. Characterization of three quantitative trait loci conferring robust resistance to wheat yellow mosaic virus in the wheat cultivar Shunyou. Theoretical and Applied Genetics. 138 (2025)

○Nagayama, T., Yamatani, H., Yamaguchi, N., Igarashi, H., Tsuda, M., Kato, S., Takahashi, K., and Kaga, A. Alternative splice acceptor site in MSH4 gene is responsible for male sterility conferred by ms5 in soybean. The Plant journal. 122(3) (2025)

○Kato, S., Yamaguchi, N., and Kaga, A. The current state of Japanese soybean breeding using DNA marker technology. Breeding Science. 76(1), p.27-47 (2026)

水田農業部

○Fumoto, T., Kumagai, S., Okashita, Y., Tanikawa, N., Kuribayashi, M., Hirose, R., Hasukawa, H., Kusuda, R., Ono, K., Katayanagi, N., and Takata, Y. Contribution of Biological Nitrogen Fixation and Ratoon Rice Growth to Paddy Soil Fertility: Analyses via Field Monitoring and Modeling. Agriculture 16(2) (2026)

○望月賢太, 古賀伸久, 熊谷聡, 岡下悠, 谷川法聖, 小野田真由, 中川進平, 遠藤佳那子, 吉澤克憲, 佐藤怜佳, 窪田成美, 宮吉沙知, 唯倫代, 高橋萌会, 栗林将也, 大橋祥範, 鈴木良地, 廣瀬亮太郎, 平野温子, 有吉真知子, 西田美沙子, 平山裕介, 中川路晴香, 前上門陽, 赤嶺拓矢, 高

田裕介, 滝本貴弘, 江口定夫. 有機質資材からの養分供給量予測による減化学肥料栽培の全国実証. 日本土壌肥料学雑誌. 97(1), p. 21-34 (2026)

遺伝資源部

○Kurosaki, H. and Yamaguchi, N. Improvement of soybean yield in northern Japan using genetic resources from western Japan with high plant density and nitrogen application. Plant Production Science. 28(2), p.153-164 (2025)

○Kurosaki, H., Yamashita, Y., Suzuki, C., and Shinada, H. Improvement of the flooding tolerance in the flowering stage by using foreign genetic resources in soybeans in Hokkaido. Plant Production Science. 28(4), p.293-306 (2025)

農業システム部

○山田将太郎, 山田洋文, 金子剛. 雇用労働力の募集方法別にみる採用と定着への効果—北海道における農業法人と営農支援組織を対象として—. 農業経営研究. 63(2), p. 37-43 (2025)

農業環境部

○竹内晴信, 塚本康貴, 板垣英祐, 須田達也, 河野桜, 細淵幸雄. 北海道におけるヴィンヤード土壌の現状. 北農. 92(4), p. 235-243 (2025)

○竹内晴信, 藤井はるか, 細淵幸雄. 北海道耕地土壌の2020～2023年における炭素貯留量. 北海道立総合研究機構農業試験場集報. 110, p. 47-56 (2026)

○古林直太, 坂口雅己, 大橋優二. 可視近赤外分光法によるトマトの非破壊窒素栄養診断法. 北海道立総合研究機構農業試験場集報. 110, p. 65-71 (2026)

(2) 口頭発表 (ポスター発表含む)

作物開発部

○道満剛平. 2025年夏季の気温が中央農試の小豆収量および葉落ちに及ぼした影響. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報. 66, p. 50-51 (2025)

○道満剛平, 大西志全, 其田達也. コムギ赤さび病抵抗性遺伝子 Lr34 の効果と育種利用. 日本育種学会第149回講演会. 育種学研究. 28(別1), p. 164 (2026)

○佐藤三佳子. 山形・山梨訪問記～北海道でのおうとう省力栽培に向けて～. 北海道果樹懇話会第27回研修会 (2025)

○道総研中央農試. 北海道-ワインプラットフォームによる醸造用ぶどう生産支援活動～道総研中央農業試験場のとりくみ～. 第5回ワインシンポジオン (2026)

○山口直矢, 佐藤博一, 中川浩輔, 田中啓介, 細井昂人, 中原健二. DNA マーカーによるインゲンマメの粒色とウイルス抵抗性遺伝子の連鎖解析. 日本育種学会第 148 回講演会. 育種学研究. 27 (別 2), p. 106 (2025)

○阿出川さとみ, 山口直矢, 相馬ちひろ, 長澤秀高, 大波正寿, 丸田泰史, 白澤健太. 「ベニダイナゴン」由来カルスを用いた除草剤耐性アズキ系統の選抜とその評価. 日本育種学会第 148 回講演会. 育種学研究. 27 (別 2), p. 108 (2025)

○山口直矢, 白澤健太. ゲノミック予測に基づく交配組合せの最適化-GS から OCS へ-. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報. 66, p. 56-57 (2025)

○細川優介, 佐藤圭, 鈴木千賀, 山口直矢. ダイズ「とよまどか」の突然変異体集団を用いた晩生変異体の選抜とその特性評価. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報. 66, p. 36-37 (2025)

○森田耕一, 粕谷雅志, 阿出川さとみ, 相馬ちひろ, 堀川謙太郎, 木下雅文, 尾崎洋人. 高温登熟耐性遺伝子 *Apq1* が北海道の水稻の生育および玄米品質に及ぼす影響. 日本育種学会第 149 回講演会. 育種学研究. 28 (別 1), p. 99 (2026)

○斉藤涼介, 相馬ちひろ, 阿出川さとみ, 白澤健太, 林和希, 大西志全. 北海道コムギ育成系統の短稈化には、既知の半矮性遺伝子 *Rht24b* アリルが寄与していた. 日本育種学会第149回講演会. 育種学研究. 28 (別1), p. 100 (2026)

○佐藤圭, 石川圭大, 和崎俊文, 足利奈奈, 白澤健太, 品田博史, 山口直矢. ゲノミックセレクションはバレイショ育種に使えるのか? 日本育種学会第149回講演会. 育種学研究. 28 (別1), p. 18 (2026)

○其田達也, 大西志全, 木内均, 足利奈奈, 森田耕一, 林和希, 神野裕信, 粕谷雅志, 吉村康弘, 佐藤三佳子, 小林聡, 西村努, 来嶋正朋, 樋浦里志, 井上哲也, 鈴木孝子, 相馬ちひろ, 小倉玲奈, 千田圭一, 竹内薫, 菅原彰, 東岱孝司. 北海道初の菓子用コムギ品種「北見95号」の育成. 日本育種学会第149回講演会. 育種学研究. 28 (別1), p. 85 (2026)

○櫻井建吾, 稲森稔, 岡部黎, 五十嵐秀成, 山口直矢, 加賀秋人, 岩田洋佳. 高速育種シミュレーターでの先読みに基づく多形質を考慮した交配戦略の最適化. 育種学研究. 28 (別 1), p. 71 (2026)

水田農業部

○岡下悠, 小杉重順, 細淵幸雄. 水稻「えみまる」の成苗ポットにおける育苗条件が不時出穂の発生に及ぼす影響. 日本作物学会. 第 260 回講演会要旨集. p. 15. (2025)

○巽和也, 五十嵐俊成, 小杉重順, 根本学. 気象情報を用いた北海道米「ゆめぴりか」のタンパク区分に基づく基準品率の早期予測技術. 日本水稻品質食味研究会. 第 17 回講演会. p. 32-33 (2025)

加工利用部

○竹内薫. 生地物性に着目した小豆粉配合食パンの製パン性改善. 日本家政学会第 76 回大会 (2024)

○福士一恵, 竹内薫, 沼口晶子, 中屋有依, 久保田のぞみ. もち粉を配合した食パンのテクスチャーと CATA 法による官能評価. 日本調理科学会 2025 年度大会 (2025)

○小谷野茂和, 櫻井道彦, 古林直太, 杉川陽一, 福川英司, 大橋優二. 子実用トウモロコシの有機栽培における安定生産技術と輪作体系への導入効果. 日本作物学会第 260 回講演会 (2025)

農業システム部

○平石学, 渡辺康平. 「酪農危機」下の家族経営における所得変化の要因解析. 令和 7 年度日本農業経営学会研究大会 (2025)

○山田洋文. 北海道の大規模経営が直面する与件変化と経営対応—水稻作を基幹とする地域資源管理型大規模法人を対象に—. 令和 7 年度日本農業経営学会研究大会 (2025)

○山田将太郎, 金子剛, 山田洋文. 従業員構成が多様化する協業法人における就業意欲と人材育成施策—地区内農家従業員と地区外従業員に着目して—. 令和 7 年度日本農業経営学会研究大会 (2025)

○山田将太郎. 集落営農における組織化過程とリーダー形成過程の共進化. 令和 7 年度日本農業経営学会研究大会 (2025)

農業環境部

○竹内晴信, 藤井はるか, 細淵幸雄, 谷藤健, 中村隆一. 北海道における耕地土壌の炭素貯留量～2020-2023 年の調査から～. 日本土壌肥料学会 2025 年度新潟大会講演要旨集. 71, p. 2 (2025)

○藤井はるか, 竹内晴信, 中村隆一, 谷藤健, 細淵幸雄. 北海道の農耕地土壌の実態 (2020～2023) と長期モニタリング調査による土壌の変化. 日本土壌肥料学会 2025 年度新潟大会講演要旨集. 71, p. 103 (2025)

○河野桜, 細淵幸雄, 丸山隼人. リンゴ酸-塩化ナトリウム溶液を用いた土壌の多成分同時抽出法の考案. 日本土壌肥料学会 2025 年度新潟大会講演要旨集. 71, p. 25 (2025)

○小杉重順, 細淵幸雄. 北海道の耕地土壌における非交換態カリウム含量の実態. 日本土壌肥料学会 2025 年度新潟大会講演要旨集. 71, p. 25 (2025)

○古林直太, 小谷野茂和. 北海道におけるダイズの有機栽培に適した抑草方法および栽培法. 日本土壌肥料学会 2025 年度新潟大会講演要旨集. 71, p. 118 (2025)

○桑原萌, 杉川陽一, 道満剛平, 大橋優二. 秋まき小麦菓子用品種「北見 95 号」のタンパク安定化技術の開発. 日本土壌肥料学会北海道支部 2025 年度秋季支部大会 (2025)

○中川博視, 杉川陽一, 大橋優二, 吉田ひろえ, 中園江, 下田星児, 岸茂樹, 島崎由美, 岡村夏海. ギャップ解析による新たなコムギ施肥設計法の開発. 日本作物学会第 261 回講演会講演要旨集, p. 52 (2026)

○中川博視, 下田星児, 吉田ひろえ, 中園江, 島崎由美, 岡村夏海, 岸茂樹, 杉川陽一, 大橋優二. プロセスベース作物生育モデルと機械学習の融合(1)コムギの収量予測モデル. 日本農業気象学会 2026 全国大会. SAMJ-ISAM2026 要旨集 (2026)

病虫害部

○佐藤翠音. 果樹の受粉を助けるマメコバチを守り育てる「巣ごと浸漬」による省力的な寄生ダニ防除方法の確立. サッポロ生物科学振興財団助成研究報告会 (2025)

○小野寺鶴将. 対抗植物を活用したジャガイモシロシストセンチュウの防除. 日本土壌肥料学会北海道支部 2025 年度シンポジウム (2025)

○佐々木太陽, 山名利一. ジャガイモにおけるトマトキバガの寄生について. 第 79 回北日本病虫害研究発表会 (2026)

齊藤美樹, ○佐藤翠音. マメコバチ巣筒の低温長時間浸漬によるツツハナコナダニの防除. 第 79 回北日本病虫害研究発表会 (2026)

○美濃健一. 切り返し剪定痕でのリンゴ腐らん病に対するチオファネートメチルペースト剤の防除効果. 第 79 回北日本病虫害研究発表会 (2026)

○中島賢. *Berkeleyomyces rouxiae* によるムラサキ黒根病 (新称). 令和 8 年度日本植物病理学会大会 (2026)

企画調整部

○須田達也, 佐々木亮. リン酸およびカリ施肥量が半促成作型メロンの収量性と糖度に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会 2025 年度新潟大会講演要旨集. 71, p. 113 (2025)

(3) 専門雑誌記事

作物開発部

○佐藤三佳子. なるほど新技術 (醸造用ぶどう M スターコンテナを用いた育苗法). ニューカントリー 5 月号. p. 76-77 (2025)

○吉田昌幸. なるほど新技術 (北海道における新しいりんごの特性). ニューカントリー 6 月号. p. 66-67 (2025)

○佐藤三佳子. M スターコンテナを用いた醸造用ブドウ育苗法. グリーンテクノ情報 Vol. 21. p. 9-11 (2025)

○道総研中央農試. 道総研中央農業試験場果樹園 (長沼町) における生育概況. ワインレポート北海道 2025. p. 4-7 (2026)

水田農業部

○齋藤優介. 収穫後並びに融雪後のほ場管理. 農産技術だより. 北海道農産協会. 25. p. 1-4 (2025)

○岡下悠. 水稻「えみまる」の種子生産における早期異常出穂抑制技術. ニューカントリー 4 月号. p. 66-67 (2025)

○齋藤優介. 水稻育苗箱専用肥料「苗箱まかせ」を用いた省力施肥技術. 農業と科学. 778. p. 1-5 (2026)

○巽和也. 気象情報用いタンパク区分の割合と基準品率の傾向を把握. ニューカントリー 2 月号. p. 32-33 (2026)

加工利用部

○小谷野茂和. 有機子実トウモロコシの生産技術と導入効果. ニューカントリー 4 月号. p. 18-20 (2025)

○小谷野茂和. 安定多収のための秋まき小麦有機栽培技術. グリーンテクノ情報. 21(1), p. 14-17 (2025)

○小谷野茂和. 北海道における秋まき小麦有機栽培のための安定生産技術. 作物生産と土づくり. 57(4), p. 41-46 (2025)

○小谷野茂和. 緑肥導入や輪作体系の確立で収量・品質の安定化を目指す有機農業を後押しする技術. ニューカントリー 11 月号. p. 17-20 (2025)

農業システム部

○山田洋文, 飯田拓詩. GAP 認証に伴う効果と認証推進に向けた対応策. 北農. 92(3), p. 180-185 (2025)

○山田洋文. GAP 認証 効果と負担を把握し経営に適した

対応策を確立. ニューカントリー9月号. p. 66-67 (2025)
○梶山努. 水稻適期収穫・乾燥調整. 農産技術だより. 24, p. 1-3 (2025)

農業環境部

○八木哲生. 人工衛星画像を用いて農地の排水不良を推定する. ニューカントリー8月号. p. 15-18 (2025)
○竹内晴信. ヴィンヤードの土壌特性. ワインレポート北海道 2025. p. 25-27 (2026)

病虫部

○齊藤美樹. マメシクイガ成虫の行動リズムに及ぼす光の影響と光照射による防除効果. 東京農業大学総合研究所生物的防除部会ニュース, 85, p. 2-6 (2026)
○山名利一. ジャガイモYウイルスのAI検査. ニューカントリー7月号, p. 68-69 (2025)
○野津あゆみ. 北海道における水稻栽培と病害虫防除の現状と課題. 植物防疫 12月号, p. 14-20 (2025)
○三宅規文. 2026 作物展望 病害虫. ニューカントリー1月号, p. 62-64 (2026)
○道総研中央農試病虫部予察診断グループ. 令和7年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫. 北農. 93(2), p. 78-94 (2026)
○野津あゆみ. 2026 年度に特に注意が必要な病害虫. ニューカントリー4月号, p. 14-16 (2026)
○三宅規文. 近年のてん菜病害虫について. てん菜だより 第15号, p. 6-7 (2026)

(4) 著編書資料

水田農業部

○齋藤優介. 良食味米を目指した土壌管理, 施肥技術. “令和8年産に向けての米づくり”. 北海道農産協会編. 同発行, 2026, p. 37-72.

加工利用部

○小谷野茂和. 秋まきコムギの有機栽培技術. “農業技術大系作物編 追録47号”. 農山漁村文化協会編. 同発行, 2025, 技218の8-13.
○小谷野茂和. 子実用トウモロコシ有機栽培の安定生産技術と輪作体系への導入効果. “「みどりの食料システム戦略」技術カタログ (Ver. 6.0)”. 農林水産省編. 2025, Web公開.

農業システム部

○梶山努. 令和8年産に向けての米づくり. VI良質・良食味米生産のための収穫・乾燥・調製と稲わら収集. 北海道農産協会, 2025, p. 111-128.

(5) 新聞等記事

作物開発部

○佐藤三佳子. Mスターコンテナを用いた育苗法. 農業共済新聞. (2025. 7. 9)
○吉田昌幸. 北海道における新しいリンゴの特性. 農業共済新聞. (2026. 2. 11)

水田農業部

○宗形信也. 令和8年度の道内水稻の生育について. 日本農業新聞. (2025. 12. 24)
○宗形信也. 水稻品種「そらきらり」について. 北海道新聞. (2026. 1. 26)
○山下陽子. 水稻新品種「空育198号」について(農業新技術発表会). テレビ北海道. (2026. 2. 20)
○宗形信也. 水稻新品種「空育198号」について. 北海道新聞. (2026. 2. 26)

加工利用部

○小谷野茂和. 子実用トウモロコシ有機栽培のコツと輪作へのメリット. 農業共済新聞. (2025. 7. 16)
○竹内薫. 「もち麦」の健康作用 PR. 北海道新聞. (2026. 1. 23)
○竹内薫. もち麦利用拡大へセミナーで PR. 日本農業新聞. (2026. 1. 26)
○竹内薫. 加工食品開発で地域活性化—旭川産もち麦の利用拡大へ—. 日本食糧新聞. (2026. 2. 9)

農業システム部

○山田洋文. GAP認証による効果と認証増加に向けた対応策. 農業共済新聞. (2025. 10. 29)
○山田将太郎. 有機野菜の購買拡大に向けたポイント. 農業共済新聞. (2025. 11. 19)

農業環境部

○八木哲生. 人工衛星画像を用いて農地の排水不良を推定する. 農業共済新聞. (2025. 8. 13)